

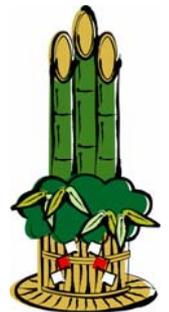


ADRC Highlights Vol.154

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

1 & 16 January 2007

謹賀新年



新年明けましておめでとうございます。

アジア防災センターは、本年6月25日～27日にカザフスタン国首都アスタナでアジア防災会議を開催することになりました。これまで日本以外ではインド、カンボジア、韓国においてこの年次会議を開催してまいりましたが、中央アジアでは、初めての会議開催となります。兵庫で開催された2005年国連防災世界会議での兵庫行動枠組の採択から2年が経過し、枠組にそった各国での本格的な取り組みの進捗が期待されるところです。

本年もよろしくお申し込み申し上げます。

所長 鈴木 弘二

▶ フィリピンとの共同プロジェクトを実施中

□ GLIDE を利用した災害データベースの構築のためのセミナーを開催

フィリピン政府防災組織である市民防衛室(OCD: Office of Civil Defense)およびアジア防災センター(ADRC)は、フィリピンにおけるGLIDE準拠災害データベースおよびウェブサイトの構築のため、2006年8月から共同プロジェクトを進めてきましたが、去る10月17日にOCDにおいて、「GLIDE(世界共通災害番号)システム説明セミナー」を実施いたしました。

近年、フィリピン政府において災害対応、意思決定の上で災害のデータベースの重要性が認識されてきています。今回、共同プロジェクトにおいて、フィリピンにおける過去30年間の災害データの整理を行い、災害データベースおよび



ウェブサイトを構築し、同時に世界災害共通番号であるGLIDEを取り入れることによって、国際間の災害データ情報を供覧することが可能になります。OCDでは、この災害データを活用することによってより速く、効率的な災害対応を目指すものであります。また同時に、ADRCが中心になって進めているGLIDE促進施策のさきがけとなります。

セミナーには、OCDから40名の参加者があり、ADRCからは、中野主任研究員と児玉研究員が出席し、GLIDEの概要と活用、使用方法について説明しました。セミナーにおいては、活発な議論がなされ、GLIDEに対する理解が深められました。

今後は、OCDで過去の災害データの整理とGLIDE番号付けを順次実施してゆき、ADRC側で見直しの後に、災害データ活用ウェブサイト(CALAMIDAT.PH)に公開の予定です。来年の2月には、GLIDE準拠災害データベースおよび災害データ活用ウェブサイトのお披露目かねて、国家災害調整委員会(NDCC)を中心としたメンバーに公開および説明するためのセミナーを実施予定であります。本件についての問い合わせは、中野主任研究員 (nakano@adrc.or.jp) までお願いします。

ご意見・ご要望等があれば
右記までご連絡ください。

編集・発行： Asian Disaster Reduction Center (アジア防災センター)
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 ひと未来館5F
E-mail: editor@adrc.or.jp TEL: 078(262)5540 FAX: 078(262)5546
誌代・送料： 無料 / 毎月2回発行(予定)